

こんにちは。山野美容芸術短期大学2年の市ノ澤音羽と1年田中美咲です。先日8月17日、18日、21日の3日間、大阪大学、大阪府立大学、武庫川女子大学、昭和女子大学、神奈川大学、武蔵大学、千葉工業大学、山野美容芸術短期大学の先生方並びに学生と共に経済産業省様、株式会社ニッスイ様、明治安田生命保険相互会社様、株式会社浅野製版所様、株式会社パソナ様に訪問させていただきました。

健康経営について学んできたことや取り組み内容を訪問先別に紹介させていただきます。

#### 〈経済産業省〉

ヘルスケア政策における経済産業省の役割は、公的保険外である一時予防(予防・健康づくり)への投資促進、適切なヘルスケアサービスの創出をすることです。

企業が従業員の健康づくりを「コスト」ではなく「投資」として捉え、人的資本投資の一環として健康経営の推進ができるようすること、そしてデータを活用した新たなサービスの創出、地域課題への対応、産業創出、医療・介護・ヘルスケアの国際展開をおこなっていくことで、国民の健康増進、持続可能な社会保障制度構築への貢献、経済成長へと繋げていくことを目的として健康経営の推進が行われています。

健康経営制度が始まってから、健康経営に対する関心が高まり、現在では投資家や求職者が企業を評価するための1つの指標になっています。

また健康経営優良法人認定制度の内容は毎年変更しているそうです。その理由は、健康経営に求められる内容は時代によって変わっていくからです。

今後は世界的に高齢化が進行していくと考えられるため、健康経営の国際展開への注目が高まりそうです。

訪問を通して、健康経営の目的や及ぼす影響について理解をするだけでなく、健康経営の国際展開について考えるなど、昨年とは違った新しい視点から健康経営を捉えることができたと思います。

#### ※最後の集合写真



#### 〈株式会社ニッスイ〉

ニッスイは水産事業と食品事業を中心に、ファインケミカル事業、物流事業に至るまで幅広く事業に取り組んでいらっしゃいます。

特に、魚から取れる栄養成分EPAやDHAを簡単に摂取することができる食品やサプリメントなど、健康に配慮した製品の販売なども行われていました。

また、「健康で美味しいもの」を取り扱う会社だからこそ、まずは自分たちから健康に気をつけようという心がけのもと健康経営が行われていました。

具体的な取り組み内容としては、有給休暇推進として不測の事態(急な病気や怪我)に備えて有給休暇を消化しきれないという従業員の声に応えてはじまった『あんしん休暇』の導入や長時間労働防止、ハラスメント防止などです。

健康に関する取り組みの中でとても興味深いのはEPA/AA比(必須脂肪酸の摂取バランスを確認するための指標としてEPA/AA比が注目されている。)に着目されていることです。年々食生活の欧米化に伴い魚の摂取量が減ってきています。魚に含まれるEPA、DHAは血液をサラサラにしたり、記憶力を維持するなどたくさんの健康効果が報告されています。

ニッスイはEPAサプリを従業員に配り健康を維持のサポートや情報の共有をしていました。

また、健康番付という相撲の番付表にそっくりなもので、EPA/AA比の高い部署や良い人が可視化できるような取り組みも行われていて、そういった遊び心も健康に興味を持ってもらう一歩なの

だと思いました。  
※最後の集合写真



〈明治安田生命保険相互会社〉

明治安田生命は正式名称明治安田生命保健相互会社という保険会社のみに認められている相互会社という形態をとっています。大企業となると支店数は1100支店ありそれぞれ健康経営に励まれているそうです。

健康経営の取り組みは2019年から「みんなの健活プロジェクト」を行っています。健康を扱う仕事をしているので、まずは自分たちから健康になるという「自分ごと化」を目指しています。生活習慣、メンタルヘルス、女性特有の病気という三本柱で健康経営に取り組んでいらっしゃいます。具体的な取り組みとしては従業員専用アプリを開発し健康診断を受診後自分の健康を点数化し見える化をしたり、個人に合わせたアドバイスをもらえたりするそうです。またアプリを開くとポイントを貰え、福利厚生に活用できるそうで続けるモチベーションになるそうです。

また女性特有の病気に対しては予防と検査という両方からアプローチしており、子宮頸がんワクチン費用、がん検査の費用は会社が負担しています。

またお客様向けにもアプリを提供しています。

従来保険は病気になってから、お亡くなりになってから役に立つものであったが現在は予防に力を入れていて、健康診断の結果に応じて結果がよければ保険料を返納する新しい保険が出てきているそうです。結果にコミットすることにより、行動を変えてもらい続けてもらうことを目的としています。

若い人に対して健康に興味を持ってもらうために地域やオフィシャルサポーターのJリーグとのコラボイベントを行ったりしています。

※最後の集合写真



〈株式会社浅野製版所〉

今回の訪問させていただいた企業の中で唯一の中小企業様でした。社員数は40名で主な業務としては印刷するうえで欠かすことのできない色の調整や広告制作など広告系のお仕事を幅広く行っています。

今はブライト500など様々な働きやすい職場としての認定を受けている浅野製版所ですが、以前は広告業界がとても忙しく長時間労働や残業があり、いわゆるブラック企業だったそうで退職手続

きと採用活動に追われる日々でした。

それをどうにかしようということで健康経営に踏み出したそうです。

まず健康経営の取り組みとして行ったことは従業員の方からのヒアリングです。これができるのは中小企業の強みだなと思いました。従業員の方が、企業に対してどんな思いを抱えているのかをヒアリングを通して知る、それが健康経営の取り組みに繋がり、最終的に退職者を減らすことによって事業を継続させることに繋がります。

健康経営は「社員が健康でしっかりと働き続けられる環境を企業が作ること」であくまで組織風土づくりだそうです。

社内でのコミュニケーションの一環としてサンクスカードという社員同士で感謝を伝え合うカードの導入や、欠食防止のためにガチャガチャで間食の提供、女性の健康にフォーカスをした女性健康あるあるカルタの取り組みなどが行われていました。

中小企業ならではの健康経営に対する取り組みを知ることができて、新しい学びになりました。

※写真は山野美容芸術短期大学のメンバーと浅野製版所様



#### 〈株式会社パソナ〉

株式会社パソナ様は、人材派遣サービス事業やBPOサービス(委託・請負)、HPコンサルティング事業などを展開している企業です。

「人を活かす」という仕事を通して、人々のライフプロデュースを行い新たなインフラを構築していく。そして、企業理念である「社会の問題点を解決する」ということを達成するためにも、健康経営・地方創生に力を入れて取り組まれています。

健康経営においては、2023健康経営銘柄を取得していて、健康経営優良法人ホワイト500に7年連続認定という実績があります。

今回は、地域相殺に力を入れている淡路島に訪問をしました。

淡路島の魅力を活かした食、自然、文化、芸術の提供が行われている施設を4つ訪問し、それらが人材誘致、地域活性化に繋がっているということ、そして、実際に株式会社パソナ様に入社して地域活性化に力を入れていきたいという新入社員の方も多くいらっしゃると知ることができました。

沢山の健康経営に対する取り組みがある中で、魅力を感じた取り組みを2つ紹介します。

1つ目は、自社だけでなく、外部企業に対する健康経営支援サービスを提供しているところです。具体的には、健康経営についてのセミナーを開いたり、保健師紹介サービスを提供していたりしています。

2つ目は、女性の健康促進に取り組まれているところです。

実際の取り組み内容としては、女性の健康問題に関する動画を配信しており、男女が見る動画、女性だけがみる動画、管理職の方が見る動画という3つの観点に分けて配信をしています。

また、産婦人科・小児科医の方に直接相談ができる相談窓口が開かれていて、オンラインなどでも気軽に相談ができるようになっています。

1日を通して訪問させていただいたことを通して、健康経営が最終的に、真に豊かな働き方・生き方に繋がるということに新しく気がつくことができました。

※淡路島の訪問先の一つである禅坊靖寧前での集合写真



3日間の健康経営訪問プロジェクトを受け入れてくださり、丁寧に説明して下さった企業の皆さま、そして健康経営について学ぶ機会を設けて下さった先生方、本当にありがとうございました。

山野美容芸術短期大学  
美容総合学科 美容師免許取得コース  
2年 市ノ澤音羽  
1年 田中美咲

